

## 寄贈図書リスト

轟きは夢をのせて, 的川泰宣, A5 判, 372 p, 1,900 円,  
共立出版社  
一般相対論入門, 須藤 靖, A5 判, 186 p, 2,000 円,  
日本評論社  
最新デジタル宇宙大百科, (株)アストロアーツ編集・  
発行, A4 変形判, 80 p, CD-ROM 付録, 2,480 円,  
(株)アスキー

スペースガイド宇宙年鑑 2005, (株)アストロアーツ編  
集・発行, A4 変形判, 128 p, 1,580 円, (株)アス  
キー  
ブラックホール天文学入門, 嶺重 慎, 四六判, 160 p,  
1,600 円, 裳華房  
科学の国のアリス, 福江 純, 四六判, 208 p, 1,600  
円, 大和書房  
宇宙探検 すばる望遠鏡, 林 左絵子, A5 判, 176 p,  
1,500 円, 新日本出版社

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致  
します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお  
申し込み下さい。

e-mail で [jimu@geppou.asj.or.jp](mailto:jimu@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお, 原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

## 人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿下さ  
い。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・  
所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担  
当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7.  
提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先,  
(2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇な  
ど)

## 熊本大学理学部基礎物理学講座教員

1. 教授 1 名
2. 基礎物理学講座
3. 宇宙物理学
4. 大学院自然科学研究科における研究指導, 理学部  
における物理学関連科目の講義・演習, および教養  
教育における物理系科目の講義を担当する。
5. 2006 年 4 月 1 日
6. 年齢は 55 歳までで, 博士の学位を有し, 研究に強  
い意欲を持っている方。地方大学の置かれている立  
場に理解のある方。
7. (1) 履歴書 (写真添付), 所属学会明記, (2) 業績  
リスト (論文については査読の有無を区別して下さ

い), (3) これまでの研究活動の概要と今後の研究  
計画 (2,000 字程度), (4) これまでの教育活動の概  
要と今後の教育に関する抱負 (1,000 字程度), (5)  
科研費等外部資金の取得状況, (6) 主要論文 (10 編  
程度) の別刷 (またはコピー) およびそれらの簡単  
な説明, (7) 応募者について参考意見を伺える方 2  
名の氏名と連絡先

8. 2005 年 8 月 22 日 (月) 必着

9. (1) 〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1  
熊本大学理学部 荒井賢三宛

(2) 熊本大学理学部 荒井賢三

Tel: 096-342-3352

e-mail: [arai@sci.kumamoto-u.ac.jp](mailto:arai@sci.kumamoto-u.ac.jp)

10. 封筒の表に「教員応募書類」と朱書し, 郵送の場  
合は簡易書留として下さい。

11. 書類選考後, 対象者を数名に絞った段階で面接を  
行います。

## 名古屋大学太陽地球環境研究所教員

1. 助手 1 名
2. 太陽圏部門宇宙線研究室 (東山分室)
4. 主としてニュージーランドでの重力レンズ探索  
と, 地下実験での太陽および宇宙素粒子の研究を推  
進しながら, 当宇宙線グループにおける他のプロ  
ジェクト (太陽粒子線の研究, 高エネルギー宇宙線

の伝播や反応過程の研究)にも積極的に関わっていただける方。大学院理学研究科の協力講座に参加し、学生の教育にも熱意をもって取り組んで頂ける方を希望します。

5. 決定次第, できるだけ早い時期
6. 採用時まで博士号取得者または取得見込みの方
7. (1) 履歴書, (2) 今までの研究のまとめ, (3) 業績リスト, (4) 研究計画書, (5) 2名の方からの推薦書又は本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先を記入した書面。なお, 提出された書類は返却しません。
8. 平成17年9月2日(金)(必着)
9. (1) 〒442-8507 愛知県豊川市穂ノ原3-13  
名古屋大学太陽地球環境研究所庶務掛  
(2)-(1) 研究内容について  
〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学太陽地球環境研究所東山分室  
村木 綏, 伊藤好孝  
Tel: 052-789-4314, 4319  
e-mail: muraki@stelab.nagoya-u.ac.jp  
e-mail: itow@stelab.nagoya-u.ac.jp  
(2)-(2) 公募内容について  
名古屋大学太陽地球環境研究所所長  
藤井良一  
e-mail: rfujii@stelab.nagoya-u.ac.jp
10. 封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし, 書留にて送付願います。
11. 名古屋大学太陽地球環境研究所人事選考委員会で選考し, 同運営協議会の意見を求めて, 同教授会で決定します。ただし, 該当者がいない場合は決定を保留します。

## 総合研究大学院大学, 平成18年4月入学の大学院生募集のお知らせ

平成18年度から総合研究大学院大学(略称, 総研大)に大学院5年制博士課程(従来の修士2年, 博士3年を一貫して持つ課程)が新設され, まもなく平成18年4月入学の大学院生募集が始まります。総研大は, 国立天文台のような日本のトップレベルの研究機関が世界水準の研究者を育てることを目指す大学院大学です。興味のある方は, ぜひ, ホームページをご覧ください。

<http://www.nao.ac.jp/EDU/soukendai/3gaiyou/index.html>

また, 入試要項の概略は下記のホームページでご覧いただけます。

<http://www.soken.ac.jp/japanese%20pages/nyugaku/annai/youkou1704kouki2.html>

平成18年度, 総研大物理科学研究科天文科学専攻(国立天文台)入学

出願期間: 平成17年7月29日~8月4日

選抜日程: 平成17年9月6日(火)~7日(水)

試験会場: 自然科学研究機構国立天文台

なお, 博士後期課程の入試は, 5年一貫制博士課程の3年次への編入試験という形になりますが, 実質上はこれまでどおりで9月と来年2月に行われます。詳細は入試要項をご覧ください。

問合せ先: 国立天文台事務総務課研究支援係

## 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

## 国立天文台 VERA 観測所上級研究員

1. 2004年11月(第97巻11号)
2. 寺家隆明(国立天文台 VERA 観測所研究員)
3. 2005年7月1日

## 研究助成

## 2005年度「朝日賞」候補者の推薦について

朝日新聞文化財団より標記の依頼がきております。推薦票は天文学会事務所にあります。また, 下記 URL よりダウンロードできます。

1. 候補者の対象: 人文や自然科学など, わが国のさまざまな分野で傑出した業績をあげ, 文化・社会の発展向上に多大な貢献された個人または団体。
2. 締切: 2005年8月31日(水)「朝日賞」係必着
3. 発表: 2006年元日の朝日新聞紙上

問合せ及び送付先:

〒104-8011 中央区築地5-3-2

朝日新聞社事業本部

メセナ・スポーツ部「朝日賞」係

Tel: 03-5540-7453 Fax: 03-3541-8999

URL: <http://www.asahi.com/shimbun/award/asahi/suisen/>

## 研究会・集案内

### 第14回公開セミナー「天文学の最前線」 —ブラックホールから銀河中心核まで—

「世界物理年」にちなんで、アインシュタインの相対性理論が明らかにする宇宙の姿を中心として今回のセミナーを開催します。最新の観測成果についても研究者が一般向けにやさしく解説します。1・2日目に講演、3日目には実験実習を行います。

名古屋大学の宇宙研究グループと名古屋市科学館が共催する夏休み恒例の公開セミナーに、ぜひご参加ください。

日時：8月20日(土)～22日(月)9:30～

会場：名古屋市科学館・名古屋大学

対象：高校生以上

定員：300名(申し込み多数の場合は抽選)

受講料：無料、ただし資料代実費1,000円をいただきます

申込方法：ハガキまたはインターネットで申し込みを受け付けます。

ハガキの場合…住所、氏名、年齢、職業、電話番号、実験実習参加希望の有無を記入の上、下記にお送りください。

〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-1

名古屋市科学館「公開セミナー」係

インターネットの場合…公開セミナーホームページ

<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/astro/seminar/>  
からお申し込みいただけます。

申込締切：7月31日(日)必着

問合せ先：名古屋大学大学院理学研究科 Ae 研

「公開セミナー」係

Tel: 052-789-2839 (大西)

### 独立行政法人情報通信研究機構

#### 平磯太陽観測センター—一般公開

平磯太陽観測センターでは、将来、宇宙天気予報を実現すべく、太陽フレア(太陽面爆発)等の様々な太陽活動現象の発生機構の解明及びその監視・予報技術の確立をめざした研究及び開発を行っています。当日は、センターにおける研究開発、太陽の光学/電波観測装置や太陽地球環境情報サービスなどを紹介する予定です。

日時：7月30日(土)10時～16時

場所：〒311-1202 茨城県ひたちなか市磯崎町3601

平磯太陽観測センター(駐車場有り)

地図：<http://sunbase.nict.go.jp/solar/pamph/access-j.html>

交通：北関東自動車道ひたちなかICより車で5分  
常磐自動車道那珂ICより車で30分

JR常磐線勝田駅よりタクシーで20分

茨城交通湊磯崎駅より徒歩20分

問合せ先：

Tel: 029-265-7121 (代表)

URL: <http://sunbase.nict.go.jp/cgi-bin/request-form/requestCRL.cgi>

### 岡山天体物理観測所の特別公開のご案内

国立天文台岡山天体物理観測所は、来る8月27日(土)に特別公開を行います。

宇宙には、いまだ解明されていないことがたくさんあります。研究者たちは、晴れた夜には大きな望遠鏡で天体からの光を集め、これを解析することによって、宇宙の神秘を解きほぐそうと日夜奮闘しています。今回の特別公開では、望遠鏡を使ってどのように観測を行うのか、また、天体から得られた光の解析で何が分かるのかなどについて、実験を交えて分かりやすく説明いたします。188cm望遠鏡をはじめとする施設紹介も行います。あわせて、岡山天文博物館でも共催として多くのイベントを計画しています。

#### 記

日時：2005年8月27日(土)9:00～17:00(受付は16:30まで)※雨天決行

場所：岡山県浅口郡鴨方町本庄 国立天文台岡山天体物理観測所・岡山天文博物館

テーマ：「感じてみよう大きな望遠鏡」

内容：主鏡見学、赤外線カメラ実験、望遠鏡操作体験、天文なんでも相談など。

岡山天文博物館では、プラネタリウムで夏番組の投映、太陽観測(晴天時)のほか、子供向けイベントとして、クイズラリー、星座・天体ビンゴゲーム、工作コーナーを予定しています。

参加方法：予約不要。当日お越し下さい。(小学校低学年は保護者同伴のこと)

入場料：無料(岡山天文博物館も無料開館します)

岡山天文博物館についての詳細な情報は下記ホームページでもご覧頂けます。

ホームページアドレス：

<http://www.rweb.ne.jp/astro/index.html>

交通：〈公共交通機関〉 JR 鴨方駅より井笠鉄道バス「遙照山行き」に乗車し、「天文台」で下車、所要時間約 25 分（バスの便数が非常に少ないのでご注意ください）

〈自家用車〉 国道 2 号線鴨方ロータリー（鴨方跨線橋交差点）から県道 64 号線に入り、矢掛方向へ約 10 km（天文台まで約 20 分）または山陽自動車道鴨方インターを降り、県道 64 号線を矢掛方面に約 6 km（天文台まで約 15 分）。

問合せ先：

Tel: 0865-44-2155 [代表]（祝祭日を除く月曜～金曜の 8:30～17:30 の間）

Fax: 0865-44-2360

URL: <http://www.cc.nao.ac.jp/oa/>

## 平成 17 年度水沢観測所特別公開のお知らせ

国立天文台水沢観測所では、下記の要領で特別公開を開催します。普段公開していない施設の公開や、研究成果の紹介、講演会、天体観望会などを予定しております。入場無料・雨天決行。構内に駐車可能です。皆さんの来所をお待ちしております。

日時：平成 17 年 9 月 10 日（土）10:00～16:00、  
天体観望会 18:00～20:00

場所：国立天文台水沢観測所  
岩手県水沢市星ガ丘町 2-12

内容：施設公開、研究紹介、講演会、ビデオ上映、  
天体観望会（雨天の場合、天体写真のスライドショーおよび星のお話）

講演会：

講師：佐藤忠弘（国立天文台水沢観測所教授）

演題：「震える地球：超伝導重力計で観測されたスマトラ沖巨大地震」

時間：10:30～11:10

講師：二間瀬敏史（東北大学大学院理学研究科天文学専攻 教授）

演題：「アインシュタインの相対論」

時間：11:20～12:00

問合せ先：国立天文台水沢観測所

Tel: 0197-22-7111（代表）

## 「太陽宇宙デジタルライブ」 京都大学花山・飛驒天文台連携 同時一般公開のお知らせ

京都大学花山天文台と飛驒天文台では、来たる 9 月

10 日に同時に連携して一般公開を行います。施設の公開・展示陳列と天体観望会を行い、また、ネットワークを経由して両天文台で観測された天体画像を相互にリアルタイムで上映します。花山・飛驒天文台で現在行われている最先端の天文学研究を、わかりやすく説明しますので、お気軽にお越し下さい。

〈一般公開〉

日時：2005 年 9 月 10 日（土）13 時～20 時 30 分

場所：(1): 京都市山科区北花山大峰町  
京都大学大学院理学研究科附属花山天文台

(2): 岐阜県高山市上宝町蔵柱  
京都大学大学院理学研究科附属飛驒天文台

公開施設と内容：花山・飛驒天文台の主要な観測施設、研究施設などの公開および展示陳列。望遠鏡による天体観望。分光器製作や太陽黒点スケッチなどの各種体験コーナー。

天体観望会：

(1) 花山天文台

13 時～16 時

ザートリウス 18 cm 屈折望遠鏡および 70 cm シーロスタット分光望遠鏡による太陽像と分光スペクトル観望。太陽黒点スケッチの実習。飛驒天文台で観測された太陽像のネットワークによるリアルタイム上映。

18 時～20 時 30 分

45 cm 屈折望遠鏡による天体観望（月）。

(2) 飛驒天文台

13 時～16 時

ドームレス太陽望遠鏡、フレアモニター望遠鏡および太陽磁場活動望遠鏡による太陽像と分光スペクトル観望。花山天文台で観測された太陽像のリアルタイム上映。

18 時～20 時 30 分

65 cm 屈折望遠鏡及び 60 cm 反射望遠鏡による天体観望（月など）

〈交通機関〉

(1) 花山天文台…京都市営地下鉄東西線蹴上駅より徒歩 30 分、蹴上駅—花山天文台間はシャトルバス（無料）を運行します。または、京阪三条駅よりタクシー約 10 分（約 1,300 円）。

(2) 飛驒天文台…公共交通機関がないので自家用車でお越し下さい。（JR 高山駅から車で約 1 時間）

〈申込方法〉

(1) 花山天文台見学は、事前申し込みは不要です。

Tel: 075-581-1235 Fax: 075-593-9617

- (2) 飛騨天文台見学希望の方は、9月3日までに、往復ハガキに住所、氏名、電話連絡先、を書いて申し込んで下さい。(団体の場合は代表者の住所、氏名、電話連絡先のほかに、見学者の総数と各人の氏名も漏れなく記入して下さい。)先着100名まで受け付けます。ハガキの宛先は、

〒506-1314 岐阜県高山市上宝町蔵柱  
京都大学飛騨天文台

Tel: 0578-6-2311 Fax: 0578-6-2118

〈花山・飛騨天文台のホームページ〉

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp>

## 鹿島宇宙通信研究センター施設

### 一般公開のお知らせ

独立行政法人情報通信研究機構鹿島宇宙通信研究センターでは、下記のように施設の一般公開(入場無料)を行います。

詳細については、鹿島宇宙通信研究センターのホームページでご案内しております。

日時: 2005年7月30日(土) 午前10時~午後4時

場所: 茨城県鹿嶋市平井 893-1

独立行政法人情報通信研究機構

鹿島宇宙通信研究センター

内容: 各研究グループの研究紹介

問合せ先: Tel: 0299-82-1211

ホームページ: <http://www2.nict.go.jp/ka/koukai2005/index.html>

## 会務案内

### 早川基金応募者募集のお知らせ

日本天文学会では若手会員(35歳以下)を対象に、「早川幸男基金」から海外学術研究の援助を行っています。観測、研究発表、共同研究など広い範囲を対象としており、(それなりに審査で差はつく可能性はありますが)現職によらず応募できます。

毎年4回(3, 6, 9, 12月の10日が締め切り)募集を行い、1年に総額200~300万円程度の渡航旅費の援助を行っています。締め切り月の翌月の1日から3カ月後の月末までが期間となっている渡航が対象ですが、前回の募集に間に合わず渡航した場合でも納得する事情説明がある場合には、その直後の回の締切に応募す

ることができます。

このような制度は他の学会ではあまり見られないものです。自分の研究そして日本の天文学の発展のために、ぜひ有効に利用してください。奮ってのご応募をお待ちしております。

応募用紙の入手や詳細については、webページをご覧下さい。日本天文学会のwebページ(<http://www.asj.or.jp/>)の「活動: 早川幸男基金」から行くことができます。

## 編集委員会より

### 天文学会会員のみなさま

#### 1. 天文月報オンライン版の公開始まる

天文月報のホームページ <http://www.asj.or.jp/geppou/> が最近リニューアルしたことはご存知でしょうか。新たな試みとして、過去の記事のpdf版をダウンロードできるようにしました。最新号から1年以内の記事は、制限付きでアクセスすることができます。上記のページの「バックナンバー」にアクセスしてください。該当の記事のpdfをクリックすると、IDとパスワード入力を求められますので、

ID: asj2005

パスワード: 雑誌コード vol98 の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌 ○○○○—▲」の○○○○の部分です。ID/パスワードは随時変更しますので、tennet、月報でのお知らせにご注意ください。

これ以外の記事については、ID、パスワード入力は求められませんので、ご自由にダウンロードしてください。ただし、現在のところpdf化されているのは2004年1月号以降の記事です。2003年分については、スキャンによるpdf化を近々行います。また、最新号から1年以内の記事のうち、毎号1, 2件の記事は「蔵出し記事」としてどなたでもアクセスできるようにしています。(蔵出し記事の選定については編集委員会で決めています。)

なお、過去の記事のpdf版公開について、支障がある方は、月報編集部 [geppou@asj.or.jp](mailto:geppou@asj.or.jp) までご連絡ください。また、オンライン版の公開についてのご意見なども編集部宛にお願いします。好評であれば、2002年以前の記事についてもpdf化を進めていきたいと思えます。

※pdf版であっても著作権は日本天文学会にありますので、取り扱いにはご注意ください。



## 2. 解説コラム開設

最近、月報の記事が難しすぎるという声をよく聞きます。編集部では専門家以外の方にもわかりやすい記事を書いていただけるよう執筆者の方にはお願いしていますが、それでも内容が高度な場合が多々あります。そこで、スカイライトやエウレカの記事が難しい場合、執筆者以外の方に、その記事のポイントについて一般向けに解説していただいたコラムを載せることにしました。記事のエッセンスでも理解していただければと思います。

会員のみなさんには、コラム執筆をお願いすることもありますので、その節はよろしくお願いたします。

## 3. 2005年6月(第98巻第6号)「幕府天文方成立の歴史的意義」の記事中の人名の「ラランデ」の表記について。

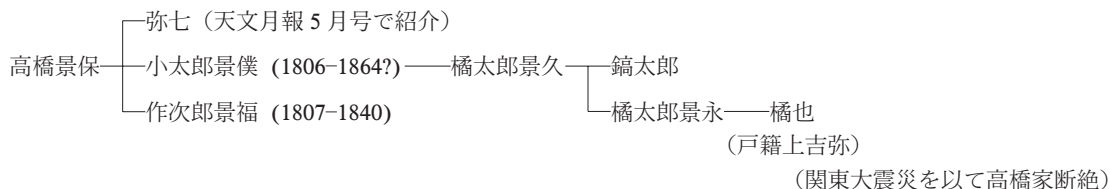
山田慶麿氏のお申し入れにより、2005年6月号の353ページから「幕府天文方成立の歴史的意義」の記事の中で、『ラランデ暦書』以外はラランドと訂正いたします。

和田桂一(天文月報編集長)

## 訂正とお詫び

天文月報2005年7月(第98巻第7号)ASTRO NEWSの483ページ写真1キャプションに誤りがありました。お詫びして訂正致します。

## 天文方高橋家の系図補足



誤) 写真 1 記念祝賀会でご挨拶される小出先生(筆者撮影)

正) 写真 1 記念祝賀会でご挨拶される小山先生(筆者撮影)

## その他

### 「高橋至時と西洋天文学」への補足

天文月報、2005年5月号特集、『西洋精密科学受容の先人たち(1)』の論文、「高橋至時と西洋天文学」(吉田 忠)の中に掲げた高橋家の系図(296頁)について、一読者の方から完全な系図ではないという指摘がありました。

5月号の系図は、当日のシンポジウムに参加された高橋家ご子孫の方々だけに関する系図を意図して作成したものです。しかしご指摘のとおり、他の遺族がいらっしゃらないかのような誤解を読者の方々に与える恐れがあるかもしれませんので、以下に補足しておきます。これは主に、上原 久著『高橋景保の研究』(1977年)によりました。それには、関東大震災で高橋家断絶(410頁)とありますが、おそらく、震災後遺族が墓参に来なくなり、行方が分からないという程度の意味で、確定的なものではありません。

(吉田 忠・伊藤節子)

和田桂一(編集長), 今西昌俊, 亀野誠二, 齋藤正雄, 寺田幸功, 濤崎智佳, 戸谷友則, 洞口俊博, 増田 智, 矢野太平  
 平成17年7月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
 印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社  
 定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
 Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595  
 日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

©社団法人日本天文学会 2005年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)